

まんだら堂やぐら群散策

やぐらとは、崖に四角い横穴をほり、主として内部に石塔を建てるなどして納骨・供養する施設です。13世紀後半ころか16世紀ころまで使われ、鎌倉及び鎌倉と縁の深い地域や寺院などにのみ分布する特殊な遺構とされています。

まんだら堂やぐら群は、2M四方程度と小規模なものを中心に150穴以上の存在が確認されている有数のやぐら群で、これだけまとまった数のやぐらを良い状態で見ることができる遺跡は鎌倉市内にも少なく、大変貴重です。

なを、近世の初めにはこの地を「まんだらどう」と呼んでいますが、既に畑地となっていました。これまでの発掘調査でも、平場の一部では14世紀頃の建物の痕跡が見つっていますが、他に明確な史料なく「まんだら堂」の具体的な姿は不明です

- 散策実施日 令和元年12月9日(月)雨天中止
集合場所 JR鎌倉駅東口改札口前 午前10時30分(時間厳守)
持ち物 昼食、飲み物、敷物、雨具等
参加料 ¥300
参加申込 支部HP申し込みフォームより

